



2021年に竣工したFactory R-1

株式会社 名高精工所

部品加工・組み立て

全社員の成長を原動力に クリエイティブ企業を目指す

主な事業内容

部品の切削、研磨加工から組み立てまで

主な製品

航空機器部品、自動車関連部品、油圧機器部品、その他産業機器部品



自動化が進む検査工程



2011年タイ工場竣工



[B to C] ワークショップ

事業内容と沿革

「挑戦するモノづくり」を 引き継いで大きく成長

最も得意にする複合旋盤加工をはじめ、旋盤加工、マシニング加工、研削加工、そして組み立てまでをワンストップで行う。材料も耐熱鋼などの難削材、ステンレス、アルミ、銅などの金属だけでなく、CFRP(炭素繊維強化プラスチック)にも対応できる設備を備えている。その形状も鋳物、鍛造材、ロストワックス材、棒材、切断材などさまざまな素材の加工が可能だ。

もともと1954年に現在の名高新悟社長の祖父が独立して興した会社。「人の嫌がる先に花畑がある」との想いで、3代に渡って「挑戦するモノづくり」を継いできた。転機となったのは2004年のISO9001の認証取得。その後のリーマンショックなどを乗り越え、2011年にはタイに現地法人を設立した。今ではその生産能力も1.5倍に増大。2021年には木津川市にFactory R-1を竣工し、リモートファクトリー化に乗り出している。

強み

自前で治具の 設計・製作から手掛ける

同社には図面を読むだけでは分からない、段取り、調整のしやすさ、作業性を考慮できるエンジニアだからこの治具設計力がある。これに基づき自社で製作した専用の治具で、異形材の把握や多数個取りを容易に実現し、製造コストの削減や製品の安定供給を可能にしている。

品質管理体制も徹底している。FMEA(故障モード影響解析)を活用し、製品や製造プロセスが持つ潜在的なリスクを、設計段階で評価し取り除いている。また、工程能力や工程性能指数にも着目することで、不良の発生を未然に防ぐことに努めている。

工場には小ロットから量産まで対応可能にしたり、微細加工に特化したNC(数値制御)旋盤加工機、多数の材料を作業台に固定できたり、パレットチェンジャーが付いて生産性を高めたマシニング

加工機、効率的に外観検査と寸法検査ができる検査機やクリーンで安全性の高い洗浄機など、今では100台以上の加工設備を持つ。そして熟練社員による教育や講習を定期的に行い、若手育成に積極的に取り組み、これら設備の能力を最大限に引き出している。創業70年にもなろうとする間、営々と築き上げてきた経験や知識は、他では得られない同社の財産だ。

今では同社のユーザーは120社以上、生産アイテムも2000~2500になり、こうした裾野の広がりがまた新たな経験、知識を呼ぶ好循環を生んでいる。2011年タイ工場が操業を始めたことにより、国内工場とタイ工場が連携することで、ユーザーの生産ニーズに合わせて、量産立ちは国内工場、大量生産はタイ工場に対応するといった提案が可能になった。

一つ一つの技術の集積がコスト、品質、提案力、試作から量産まで対応できる総合的なバランスの高さを実現し、ユーザーに最良の工法を提案できる強さを生んでいる。

今後の展開

2年かかるはずの量産立上げも 3か月で可能に

こうした強みを結集して「量産最速立上げプログラム」を開発した同社。「2年かかるはずの量産立上げを3か月でやり遂げた」実績を元に、需要の急激な変化にも対応できる新たな時代への対応を図る。量産部品を急いで調達しなければならない時に、試作からいかに量産化を短期で立ち上げるかという問題を解決するものとして、今、さまざまな業界から注目を集めている。

同社は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を機に社員研修に力を入れ始めた。2030年に「クリエイティブ企業」の実現を掲げ、社員一人一人が創造的な発想ができる会社への「進化」を目指す。今後3年以内にこれまでのデータを元に提案型企業へのシステムを構築し、「ティア3からティア2へ」、さらにその先には「B to C」ビジネスへの進出も計画に入る。すでにワークショップでは若手を中心にさまざまな提案が出されているところだ。

「挑戦するものづくり」で人と製品を進化

創業当初はユーザーの求めるものは何でも手掛けてきましたが、それが今の強みに生きています。これからも「全社員の成長」を何より大切に、更なる進化を目指そうとしているところです。既存の事業の深掘りと新たな事業機会の発掘という「両利きの経営」を皆で追求していきます。



代表取締役社長
名高 新悟さん

全社員一人ひとりの成長に
徹底的に寄り添う。

住所	〒611-0041 京都府宇治市横島町中川原28
TEL	0774-22-6784
FAX	0774-22-6484
創業	昭和29年1月
設立	昭和44年5月
資本金	1,000万円
従業員	100名

<https://nadaka.jp/>

